

きょうと☆いきもの調査～みんなでドングリを調べよう！～ 報告書

きょうと生物多様性センター

➤ 概要

きょうと生物多様性センターでは、参加者の皆様が、身近な自然や生きものを通して、生物多様性に関する理解の向上を図るとともに、生きものの生息・生育情報を蓄積することにより、京都の自然の豊かさ等を分析し、生物多様性保全の取組に活用するため、住民参加型のいきもの調査を実施しました。調査では、身近な生きものであり子供たちも大好きな「ドングリ」について発見報告を募集しました。

➤ 調査対象

京都府内で見られるドングリの仲間(クヌギ・クリ・アラカシなどのブナ科の植物)

➤ 調査期間

令和5年10月～令和5年12月

➤ 報告方法

「京^{みやこ}・生きものミュージアム」内にある報告フォームより報告

➤ 結果

報告件数：34件 種数：13件

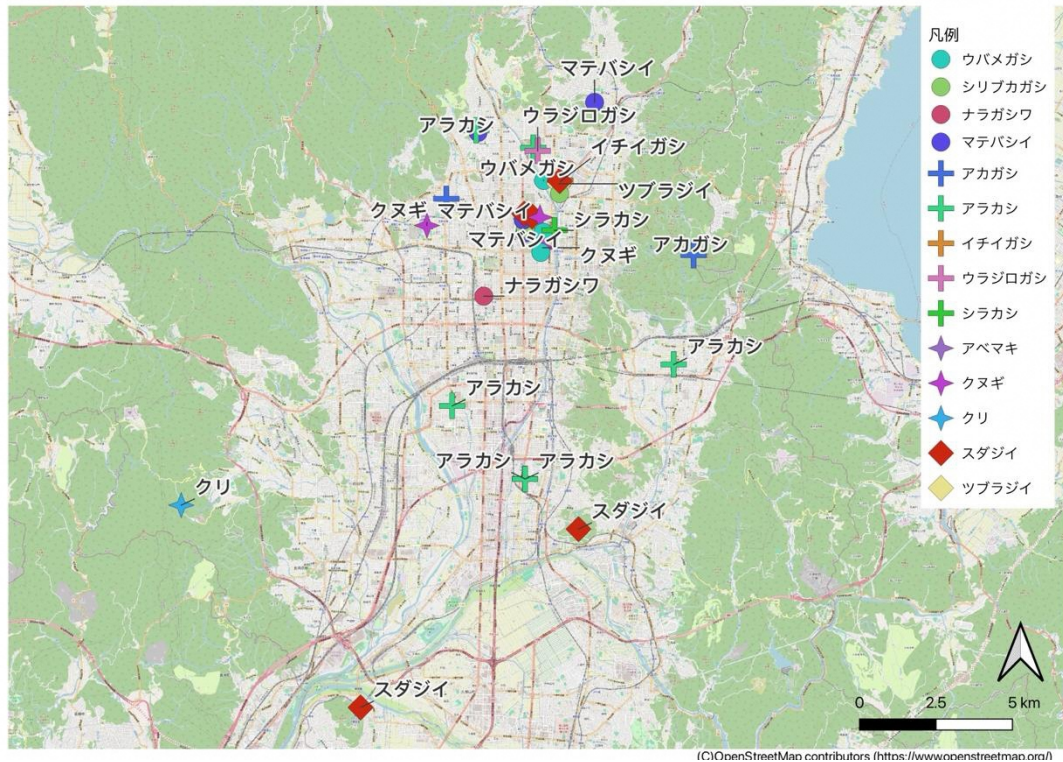
<各種類別の報告件数>

種類		報告数
トゲトゲ	アベマキ	0
	クヌギ	3
	カシワ	0
	クリ	1
シマシマ	アラカシ	6
	シラカシ	1
	ウラジロガシ	1
	イチイガシ	2
	ツクバネガシ	0
	アカガシ	2

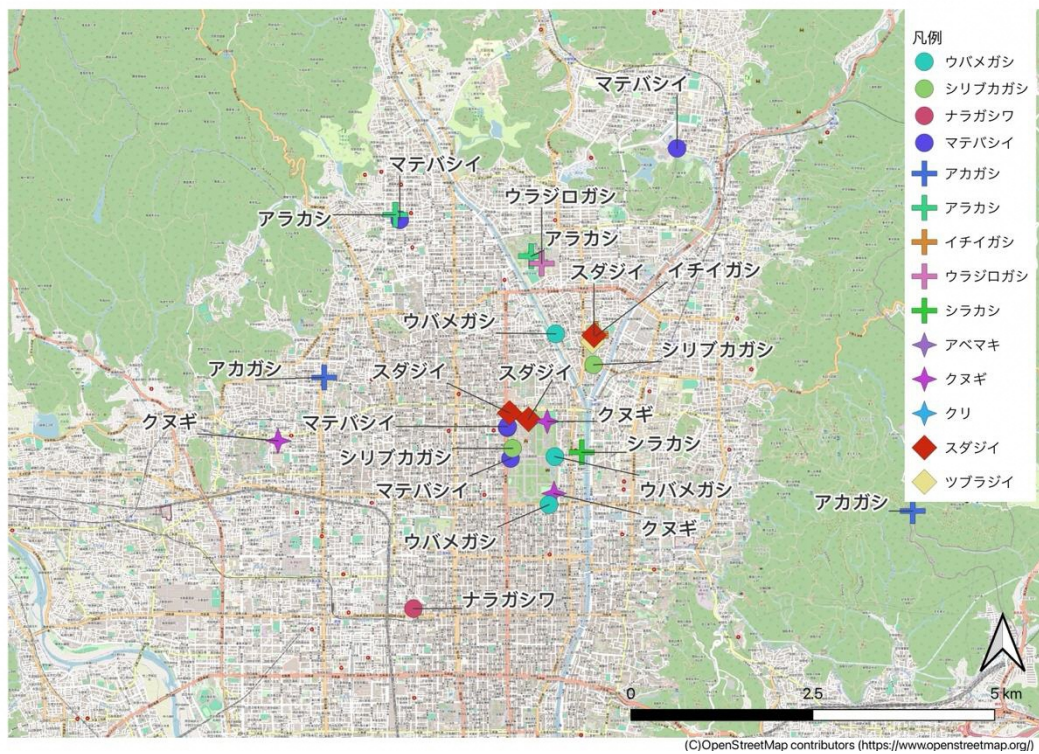
種類		報告数
ピスタチオ	ツブラジイ	1
	スタジイ	5
	ブナ	0
	イヌブナ	0
ウロコ	シリブカガシ	3
	マテバシイ	5
	コナラ	0
	ウバメガシ	3
	ナラガシワ	1
	ミズナラ	0

<報告場所>

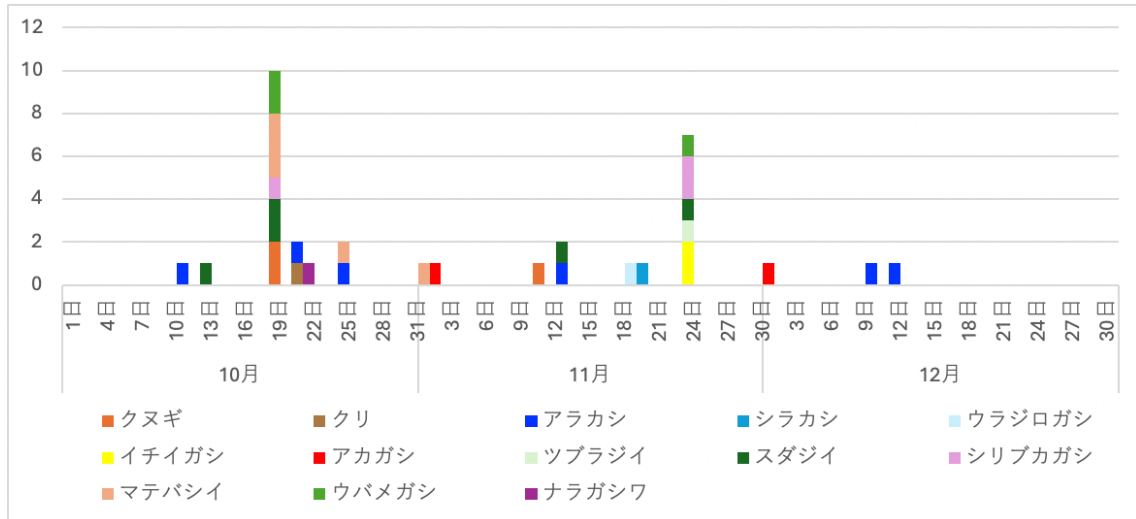
・全域



・市内中心部拡大



<報告時期と件数>



➤ 結果の概要

34件の報告があり、13種のドングリが見られました。最も報告の多かった種はアラカシ（6件）であり、次いで、スダジイ（5件）、マテバシイ（5件）でした。

公園や街路樹、京都御苑などの街中の緑地で多く見られました。街中では13種のうち、アカガシ、クリを除く11種類が見られました。中でも、京都御苑では、5種類が見られました。

なお、京都御苑では、今回の調査では見られませんでした。アベマキ、シラカシ、マテバシイ、イチイガシの木もあることが知られています。

報告時期については、10月、11月に多く見られました。アラカシは、調査期間である10月から12月のどの月でも見られました。

今後も継続して調査することにより、公園、寺社、街路、森林などといった土地利用ごとのドングリの分布傾向や種による発見時期の違いなどについても分かってきます。